

無人航空機が目視外及び第三者上空等での飛行に関する検討会
第2回 物流分科会 議事概要

1. 主な議事

○事務局より資料説明し、構成員より情報提供をした上で、意見交換を行った。

2. 主な意見

- 機体側から荷物の状態を報告したりオペレーター側からの緊急指示を受けたりするための双方向通信機能を機体に持たせることが必要ではないか。
また、機体とシステムもしくは運用者との通信が途切れる状態は許容されるのか。
一般の飛行に求められる要件と共通する項目もあると見受けられるため、検討会の検討内容を踏まえつつ、整理していく必要がある。
- 荷物落下時の物件損傷を防ぐために突起物がない等の荷姿の工夫が必要ではないか。
また、落下リスクを未然に防止する方法として、重心・機体バランスのモニタリングも必要ではないか。
- 機体と荷物の落下を制御する装置としてパラシュートが例示されているが、送電線にパラシュートが引っ掛かる恐れがあるため、周辺環境に応じた装置が使用されるようにすべき。
- 要件は性能基準で示されているので、括弧書きの具体的な対策については、例示であることを分かりやすく記載すべき。
- バッテリー切れによる落下リスクは、特に物流の用途では大きくなるため、検討会での議論を踏まえつつ、検討が必要ではないか。

以上